

千葉臨海工業地帯造成計畫

利根川放水路事務所長

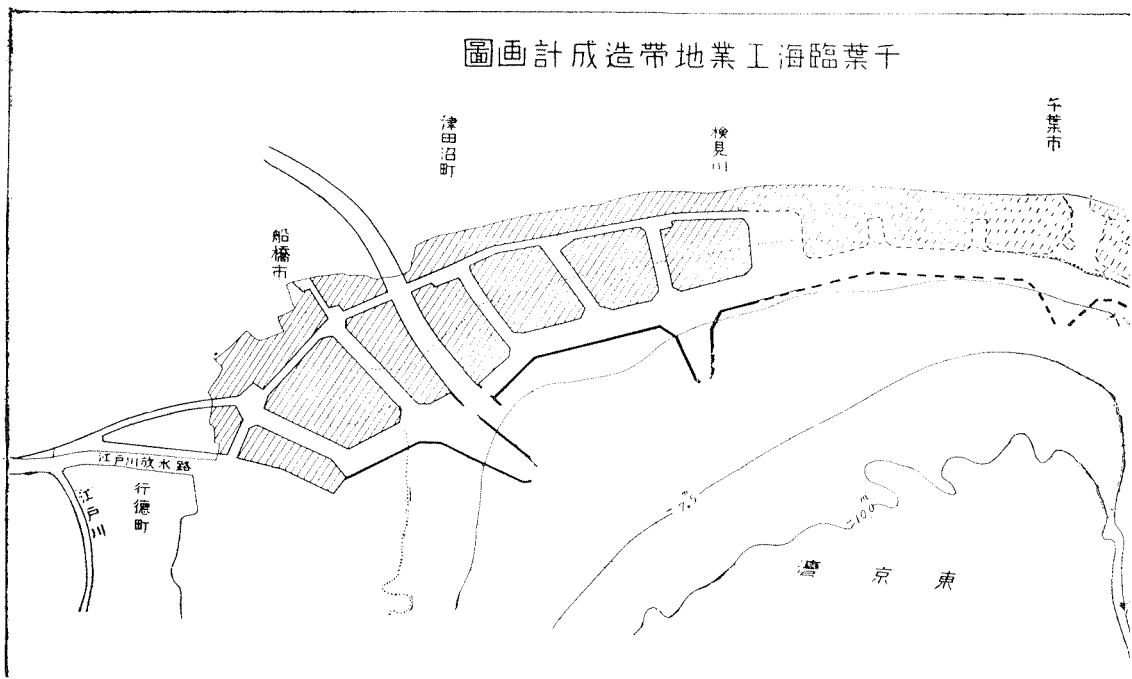
内務技師 山下輝夫

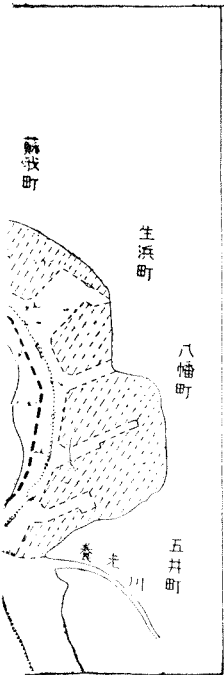
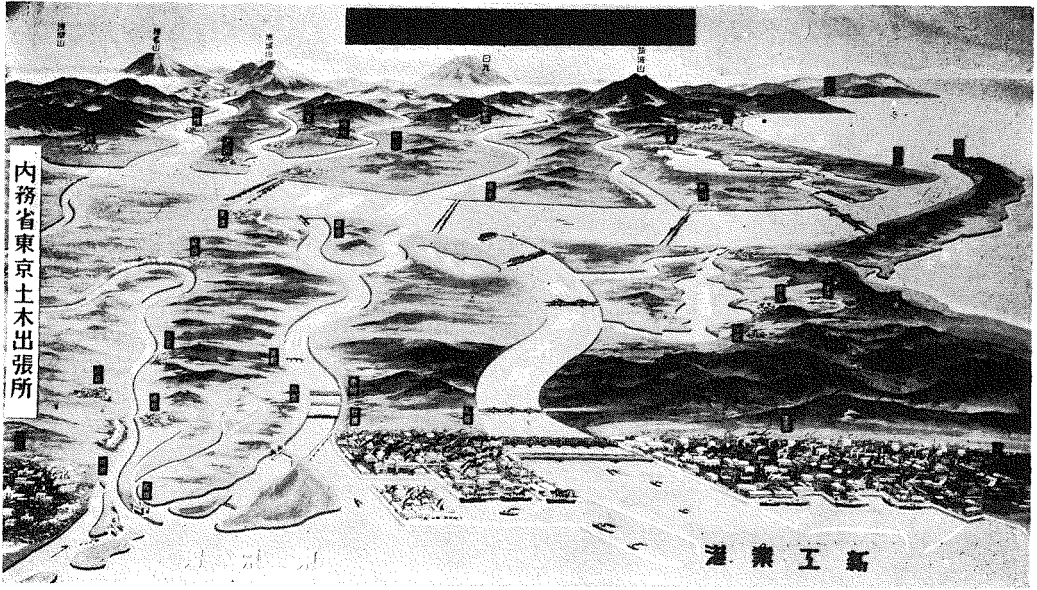
工費一億圓を以て昭和十四年度より着手したる利根川増補工事は、現在堤防の擴築の外、新たに中利根川筋の湖北村から南西へ船橋市に達する二十九軒の放水路を開鑿して、利根川高水量の約三分の一を東京灣に放流させる事となつた。

此土量は七千四百萬立方メートルの多量で、其四割を印旛・手賀兩沼及低地に投棄し六割の剩餘土を以て船橋附近の海面を埋立つるに於ては、實に一千二百ヘクタール(三百六十萬坪)の土地を造成し得るのである。

此放水路工事に關聯して利用上種々なる調査を進めたるに、恰も此地點が、海底の深度及地質、波浪、工業用水水源、住宅地域、交通機關等に於て孰れも工業港造成上好適條件を具備する事を確められた。即ち放水路剩餘土四千五百萬立方メートル及水路浚渫土四千五百萬立方メートル合計九千萬立方メートルを以てすれば、實に二千三百三十ヘクタール(七百萬坪)の廣大なる大工業地帯が造成せられ、世界無比を誇る大工業港が出現する譯である。

此地帯の利用が飽和状態に達すれば人口百萬人を擁し(現在千葉縣の總人口百六十萬人)年額三十五億圓(一坪一ヶ年の生産額五百圓とす)の生産力に及び、國防工業の確立或は貿易産業の擴充が叫ばれる今日、如何に國策的意義を有するかを知るに足るものである。





- (1) 埋立地
- | | |
|------|--------------------|
| 埋立土量 | 9,000,000 立方米 |
| 埋立面積 | 2,330 ヘクタール(700萬坪) |
| 埋立地高 | 満潮位上 2.1米 |
- (東京灣中等潮位上 3.0米にして津波の既往最高潮位に當る)

- (2) 防波堤
- | | |
|----|------|
| 延長 | 16 軒 |
|----|------|

- (3) 水路
- | | | | |
|-----|------------|------|---------|
| 水路 | 幅員300~200米 | 水深9米 | 延長 15 軒 |
| 解水路 | " 100米 | " 3米 | " 18 軒 |

其他必要なる護岸、道路、鐵道、公園等の施設をなすものとす。
 工費約 7,500萬圓を要する見込である。